

国際昆虫学会の経験

派遣国名：大韓民国(大邱市)

派遣期間：2012.8.18～2012.8.25

学会名：International Congress of Entomology

2012年8月18日から8月25日までの8日間、本プログラムの支援を得て、韓国大邱市で開催された国際昆虫学会（International Congress of Entomology）に参加し、口頭発表を行いました。

私が研究対象としているのは、甲虫目ハネカクシ科ヒゲトハネカクシ亜科に属し、シロアリの巣にすむ好白蟻性種の一群です。これら好白蟻性種は、甲虫とは思えない珍奇な形態を呈するものが多く、その特殊性から、これまでに多くの上位分類群（族や亜族）が設立されてきました。しかし、これら好白蟻性分類群は、亜科内における他族との系統関係が調査された例がほとんどありません。そこで私は、好白蟻性種で構成される Termitohospitini 族と、自由生活種で構成される Myllaenini 族の系統関係を調査し、その成果を発表しました。



会場の The EXCO-Daegu Convention Center

* * *

口頭発表直後、韓国忠南大学校でヒゲトハネカクシ亜科の分類・系統を御専門とされている Kee-Jeong Ahn 教授が声をかけて下さいました。アン教授は、以前に Myllaenini 族の系統解析の成果を発表されており、その論文は今回の私の発表でも大いに参考にさせていただきました。その論文について、研究の背景や私が抱いていた疑問点をお尋ねできたこと、そして、私の発表に対するご意見ご感想をいただけたことは、今回の派遣で得た大きな成果の一つであると考えています。また、学会最終日には、アン教授とその学生のみなさんに夕食に招待していただき、親睦を深めることができました。



親睦会の様子

* * *

今回の派遣は、私にとって初めての国際学会となりましたが、甲虫や昆虫全体の系統関係解明を目指した巨大プロジェクトの最新情報や、開催地の韓国の国を挙げた各国研究者へのもてなし（8月19日に開催された Welcome party はなんと大邱市の招待!）など、その規模の大きさに何度も驚かされました。また、参加者には私と同年代の学生や日本の学生が多く、非常に刺激を受けました。今回得られた知識や経験、友好関係を活かし、研究のさらなる発展につなげていきたいと考えています。最後になりましたが、ご支援いただきました本プログラムならびに関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。